

上越新幹線200系のバリアフリー設備の覚え書き

(2014年3月作成)

©作成・半沢一宣(はんざわ・かずのり)

- * 2013年3月15日限りで営業運転を終了した車両の記録です。
200系は1982年6月23日に東北新幹線が開業したときからの車両です。
客室設備は、東海道・山陽新幹線用の0系とほぼ同じです。
当初は12両編成でしたが、後に16両から8両まで様々な編成が作られました。
その中の1種類に、東京～福島間で山形新幹線「つばさ」と連結して走るための10両編成がありました。
このグループの車両が、1999年から2002年にかけてリニューアル改造を受け、2013年の200系引退まで残存していました。

車いす対応座席(次ページの配置図で「H」と標記)

7号車の11番A席が車いすからの乗り移りに便利なよう肘掛けを跳ね上げることができる構造になっていて、車いす固定用の設備もあります。

多目的室(次ページの配置図で「M」と標記)

7号車の新潟寄りにありますが、改良型ハンドル式電動車いすには対応していません。

車いす対応トイレ(次ページの配置図で「W」と標記)

7号車の新潟寄りにありますが、ベビーベッド(おむつ交換台)などを併設した多機能タイプではありません。

洗面所

7号車の新潟寄りにありますが、車いす対応構造と言えるかどうかは微妙です。

電話室(次ページの配置図で「p」と標記)

7号車の新潟寄りにありますが、車いす対応構造ではありません。

飲料自動販売機

2008年3月31日限りで飲料自動販売機の営業を終了しました。

受動喫煙の発生状況

東北・上越新幹線は2007年3月18日から全車禁煙です。

乗車・調査の実施記録

いずれも2013年1月13日(日曜日) 各車両の製造年・メーカー名は未確認

東京7時08分発新潟ゆき「とき342号」(K46編成)

(全区間を9号車12番A席に乗車)

車両番号・7号車=225-497、9号車=215-1012

新潟17時46分発東京ゆき「とき305号」(K47編成)

(全区間を1号車15番E席に乗車)

車両番号・1号車=221-1510、7号車=225-505

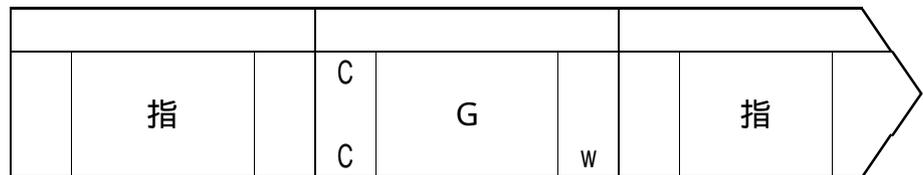
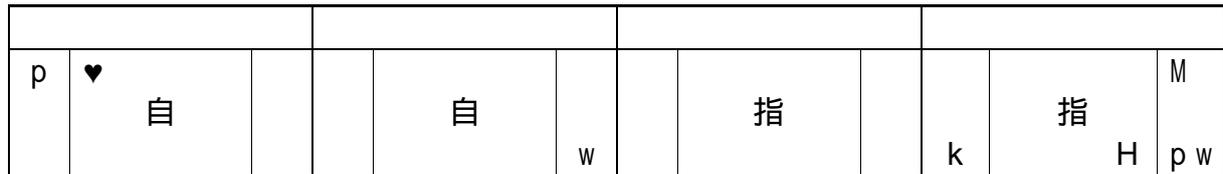
次ページ以降に掲載した写真には、別の日時・列車で撮影したものも含まれています。

200系の車内設備の配置図

東京
東京

(とき)
(たにがわ)

新潟
高崎・越後湯沢・ガーラ湯沢



凡例

- | | | |
|---------------------|------------|------------------|
| 指 = 普通車指定席 | 自 = 普通車自由席 | G = グリーン車 |
| H = 車いす対応座席 | | M = 多目的室 |
| W = 車いす対応トイレ | | w = 車いす非対応トイレ |
| P = 公衆電話(車いす対応) | | p = 公衆電話(車いす非対応) |
| C = 車掌室 | | k = 車内販売準備室 |
| = A E D (自動体外式除細動器) | | |



東北・上越新幹線200系(1982年の開業当時の塗装を復元した編成)



200系7号車の車いす対応座席



200系7号車の多目的室(内部は未撮影)
窓ガラスには「業務用」と不適切な表示



200系7号車の車いす対応トイレ



200系7号車の洗面所



200系7号車の電話室
(新製当初から設置されていたもの)



200系4号車の公衆電話
(後に増設されたもの)